

学校関係者評価 新居浜市立泉川中学校

1 学校関係者評議委員

- ・ 篠原 茂 氏 (学校運営協議会会長)
- ・ 山本 千明 氏 (学校運営協議会副会長)
- ・ 真鍋 智明 氏 (学校運営協議会委員)
- ・ 秦 典生 氏 (学校運営協議会委員)
- ・ 石川 武博 氏 (学校運営協議会委員)
- ・ 原 寿也 氏 (学校運営協議会委員)
- ・ 梶本 香織 氏 (学校運営協議会委員)
- ・ 山中 俊子 氏 (学校運営協議会委員)
- ・ 太田 初 氏 (学校運営協議会委員)
- ・ 小山 博規 氏 (学校運営協議会委員)
- ・ 山内 光男 氏 (学校運営協議会委員)
- ・ 柴田 雅昭 氏 (学校運営協議会委員)
- ・ 星川 智和 氏 (学校運営協議会委員)
- ・ 亀井 夏代 氏 (学校運営協議会委員)

2 学校関係者評価結果 (令和6年1月25日実施)

(1) 学校からの報告

ア 成果

令和4年度と比較し、ほとんどの項目で評価のポイントが向上した。今年度は、当初に新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたことで、自粛や中止としていた行事、各種活動が再開された。そのため、生徒や保護者、教職員、地域関係者が互いに連携や協働を行う場面が増加し、学校生活や生徒の様子がよく分かるようになった。多くの行事や活動が3、4年ぶりに実施することで、教職員やPTA役員、保護者や地域で、よく熟議して安全かつ充実した教育活動を目指した。その成果として、学校評価のポイントが上昇として表れてきたものと思われる。

学校運営協議会を通して、令和5年度泉川中学校のテーマを「関わる、つながる」とした。年度当初からこのテーマを心掛け、日常の学校生活や教職員による指導、支援、家庭や地域との連携・協働を進めてきた。生徒会活動でも今年度のスローガンが「HULA HOOP ～皆で創り出す仲間の輪～」に決定し、生徒自身も関わり合い、つながり合う仲間づくりを大切にしようとする機運が高まった。

- ・「生徒は充実した学校生活を送れている」について、ポイントが高い。多くの行事が実施できるようになり、生徒自身が主体的、積極的に活動できるようになった。またマスクの着用なく、互いに表情が見える環境になってきたため、円滑にコミュニケーションをとれるようになったと感じられる。
- ・「学校は地域とともにある学校づくりを進められている」「地域の環境や人材が、教育活動に活かされている」の項目は、教職員、保護者ともにポイントが高かった。教職員から地域の方々がとても協力的なので助かっているとの声が多くあり、来年度以降も連携・協働ができるよう努めていきたい。転入してきた教職員自身が地域との関係づくりを進めていくことが重要である。
- ・「生徒は思いやりの心を持ち、友人を大切にすることができているか」について、生徒のポイントがとても高く、安心して学校生活を送ることができていると感じられる。全体的に優しく穏やかな生徒が多く、学校生活の中で互いに良い影響を与え合っている。

イ 課題

昨年度に比べ、多くの項目でポイントが向上した。一方で項目によっては、ポイントが低いものが複数あり、本校の課題だと感じている。

- ・「学力は向上している」について、教職員、保護者、生徒全てにおいてポイントが低い。生徒は小学校と比べ学習が難しくなっていると感じており、分からないからやりたくないと言っている。

もう生徒もいる。また、学習の状況について保護者にしっかりと伝えていく必要があると感じている。「計画的に家庭学習に取り組める工夫をしている」についてのポイントも低いため、家庭と連携して、ポイントを向上させる手立てを行う必要がある。

- ・「生徒のあいさつはよくできている」について、ポイントは高いものの、しっかりとあいさつできる生徒とできていない生徒の差が大きい。地域の方からはあいさつができるようになったとの評価を得ているが、誰に対しても場を踏まえたあいさつができる生徒を育てていきたい。
- ・「校内の環境美化に積極的に取り組んでいる」について、地域の美化活動に自主的に取り組もうとする生徒が多くいる一方で、日々の校内美化活動では、時間いっぱい清掃に取り組めていない生徒がおり、美化活動を大切にする機運の醸成が更に必要である。

(2) 意見・感想

- ・アンケート結果が全てではないと思うが、教職員、保護者、生徒が同じ項目でポイントダウンしていることが気になった。特にわかる授業に努めている、生徒の学力は向上している、家庭学習に取り組んでいる工夫をしているという項目について、低評価が気になる。何か一つでも解決ができれば、ポイントアップにつながるのではと思う。教職員もすごく頑張っていると思うので、引き続き前向きに頑張してほしい。
- ・昨年度以上に落ち着いた学校になっている。保護者や地域からの要望や苦情も増え、対応が過度になるときもある。今年度のように駅伝全国大会出場や音楽部の合唱で四国大会出場銀賞など一つでも良い結果があると、皆の記憶に残る。地域の一人として専門委員会に参加しているが、生徒はよく頑張っている。
- ・保護者の意見に対して、自分の都合で意見を言っている面もあると思うが、第一に生徒の長所を伸ばす教育が大切だと感じる。
- ・小学校ではタブレットを効果的に活用していた。中学校でも引き続き上手に活用をお願いしたい。
- ・大好き泉川の日など、積極的に地域のボランティア活動に参加している生徒が多く、素晴らしいと感じている。地域とともにある学校づくりをこれからも小・中連携して進めていきたい。
- ・保護者と教職員の思いはあまり乖離がなく、同じ思いで生徒を育てている。生徒自身もどのように学生時代を過ごすか、勉強、部活動、友人関係など、3年間を有意義に過ごせたと思える学校生活を送ってほしい。
- ・保護者の意見や感想も踏まえたうえで、子どもを中心に考えていけば良い。そのためにも学校だけに負担させるつもりはなく、地域やPTAも協力し、学校運営協議会（定例会）で何でも言ってくれば良い。
- ・今年度の目標の「かかわり・つながり」を実践した結果が表れている。来年度に向けて改善し、より良い泉川中学校にしていきたい。また学校運営委員会（定例会）を活用し、意見交換をしていきたいと思います。
- ・朝の見守り活動をしているが、あいさつはよくできている。地域とともにある学校づくり、学校を核とした地域づくりのためにも、地域と教職員が関わる場面がもう少しあると、互いに顔が分かる関係ができ、もっと連携や協働が進むと感じている。
- ・教職員の評価に比べ、保護者の評価が低いことが気になった。一方で生徒の評価が高いのは良い。生徒と教職員の信頼関係づくりが重要だと感じている。教職員は生徒一人一人に対してよく関わっている。部活動、駅伝など生徒の頑張りは素晴らしい。これからも地域で見守り、思いやりのある子、人間性の豊かな子を育てていきたい。